

科目	世界史	出題意図	本試験は、大学入学後の学業遂行に必要となる、高等学校段階における基礎的な学習内容を理解しているかを問うものです。
入試期	前期Ⅲ		
試験日	2025年2月5日		
試験時間	2教科連続 130分		

(Ⅰ)

- 問1 1
問2 社会主義
問3 2
問4 3
問5 4
問6 2

(Ⅱ)

- 問1 3
問2 1
問3 1
問4 2
問5 半両銭
問6 2

(Ⅲ)

- 問1 4
問2 3
問3 4
問4 3
問5 【解答例】

スペインと締結したトルデシリャス条約とカブラルがブラジルに漂着していたことを根拠とした。(44字)

- 問6 1

(IV)

問1 【解答例】

唐・新羅により百済は滅亡し、日本は白村江の戦いで唐・新羅に敗れ、百済再興は失敗した。

(42字)

問2 3

問3 2

問4 1

問5 4

問6 2

(V)

問1 【解答例】

オスマン帝国がハンガリーを征服し、ウィーンに迫ると神聖ローマ皇帝カール5世は、ルター派諸侯の協力を得るために一時妥協した。最終的にアウクスブルクの宗教和議でルター派は承認され、領邦教会制が成立した。(99字)

問2 【解答例】

カール5世は、プロテスタント諸侯と妥協する必要もなく、プロテスタント諸侯を弱体化させた。このため、17世紀の三十年戦争は起きず、神聖ローマ帝国はオーストリアを中心とした集権的な国家として存続した。(97字)

カール5世は、プロテスタント諸侯と妥協する必要もなく、プロテスタント諸侯を弱体化させた。そして、17世紀の三十年戦争後のウェストファリア条約で認められたような、諸侯による集権的な国家は確立しなかった。(99字)